

★「<sup>りょうめんいんさつ</sup>両面印刷、<sup>たんべんと</sup>短辺を綴じる」で印刷した後、<sup>いんさつ</sup>印刷した<sup>あと</sup>後、<sup>せんき</sup>線<sup>てんせん</sup>で切り、<sup>そ</sup>点線<sup>お</sup>に沿って折ると  
ちい  
小さなパンフレットのようになります。

-----  
.....  
やまお  
山折り  
たにお  
谷折り

## 第15回

第15回隠し玉（宝島社編集部推薦賞）  
『スマホを落としただけなのに』  
志駕 晃/著 宝島社 2017

麻美の彼氏が落としたスマホを拾った男は、ハッカーだった！画像フォルダを見た男は麻美を気に入り、SNSを駆使した狡猾な罠で麻美に迫る。一方、神奈川の山中では身元不明の女性の死体が次々と発見され…映画化や続編で話題となった作品。

このミステリーが  
すごい！大賞  
を読みつくす③



LibraryNAVI  
宮崎市立図書館

## 第17.18回

第17回大賞『怪物の木こり』  
倉井 眉介/著 宝島社 2019

弁護士・二宮彰は、「怪物マスク」を被った男に斧で頭を割られかける。一方そのころ、頭部を開いて脳を奪う連続猟奇殺人が世間を騒がせていた…

第18回大賞『紙鑑定士の事件ファイル』  
歌田 年/著 宝島社 2020

どんな紙でも見分ける紙鑑定士と、伝説のプラモデル造形家が、ミニチュアハウスに隠された殺人計画を追う。

## 第20回

第20回大賞  
『特許やぶりの女王』  
南原 詠/著  
宝島社 2022

人気VTuber天ノ川トリィが特許権侵害を警告され、活動休止の危機に。弁護士・大鳳未来は調査に乗り出すが…

2022.10

## 第19回

### 第19回大賞『元彼の遺言状』

宮崎出身 新川 帆立/著 宝島社 2021

「僕の全財産は、僕を殺した犯人に譲る」という遺言状を残して、大手製薬会社の御曹司が亡くなった。学生時代に彼と交際していた弁護士剣持麗子は、「犯人選考会」に参加し、依頼人を犯人に仕立て上げようと奔走するが…綾瀬はるか主演でドラマ化もされた話題作！

著者の新川さんは宮崎市出身ということで出版前からたくさんお問い合わせがありました。その他の作品も多数所蔵していますのでぜひ読んでみて下さい！

## 第15・16回

### 第15回大賞『がん消滅の罌』

岩木 一麻/著 宝島社 2017

がん患者の病巣がきれいに消え去ってしまう連続がん消失事件は奇跡か、陰謀か。医師・夏目とがん研究者・羽島が謎に挑む！

### 第16回大賞『オーバーツ死を招く至宝』

蒼井 碧/著 宝島社 2018

黄金シャトルやストーンヘンジなど、謎の至宝をめぐる殺人事件に天才オーバーツ鑑定士・古城と、貧乏学生・鳳が挑む！

## 第14回

### 第14回大賞『ブラック・ヴィーナス』

**W受賞** 城山 真一/著 宝島社 2016

株取引の天才・黒女神と元銀行員の助手。やがて二人は壮絶な経済バトルに巻き込まれていく。

### 第14回大賞『神の値段』

**W受賞** 一色 さゆり/著 宝島社 2016

ギャラリー経営者・唯子が殺された。アシスタントの佐和子は、犯人を探るべく動き出し…